

第33回 ことう地域チームケア研究会



くすのきセンター

1階 研修室

平成30年7月12日(木)

参加者の名様へ

- 各テーブルに、名札を準備しましたのでご利用ください。
『所属(事業所名)』『職種』『名前』をお書きください。
お帰りの際は、受付にお戻しく下さい。

～お互いの顔と名前を知り合って、

さらに交流を深めましょう！～

交流会

○話題提供を聞いた**感想**や**もっと知りたいこと**

○自分の身近な家族や利用者(患者)様の叶えたい望みは何ですか？

『あなたが、その人の望みを叶えるためにアプローチをしようとする時に、**気になるのはどのようなことですか？**』
等

❁グループ発表後は、自己紹介タイムです。

- 研究会の目的にもあるように、「顔の見える関係」や「手をつなぎ合える関係」があるからこそできた支援ではないかと思った。
- タイムリミットがある中、ケアマネジャーに迷いがあつたら動かなかつたと思う。
- マイナス面やリスク面よりも、支援者も家族も覚悟があつたからこそ実現ができた。
- こんな方法があるということ伝えていく必要がある
- 苦しいことのほうが多いのではと考える。連携をとっている姿をみると安心できるのかなと思うと同時に自分にも何かできるのではないかと考えるようになった。
- 「覚悟」と互いの「信頼感」。あきらめてしまいがちな状況であつたが、それぞれの強い思いがあつて実現できた。
- 短期間で、どのように信頼関係を築くことができたのか。退院時のアプローチ、初期の対応が重要。

- 「多職種連携」の最たる事例ではなかったかと思う。一番大切なのは、本人や家族が満足されているかどうか。めざしていきたいと思った。
- 自分の職種としてどのようにかかわればいいのか、関わり方がイメージできた。
- 患者さん（利用者さん）が病院から在宅に戻られて、自宅にいる喜びをどのように感じてもらえるか、専門職としてどうかかわれるか。
- 支援の中で感じる「ジレンマ」について
 - * 終末期の支援、誰の意見を尊重すると良いのかと悩むことがある
 - * 急変時の対応を事前に話し合っておいてもそのようにできない時がある
 - * 食べることは最後まで大切。歯科衛生士としてターミナル期へもっと関わりたいが、歯科衛生士が単独で動くことができない。
 - * ずっと診察してきた患者さんが、調子が悪くなったので入れ歯を作る提案をしたが、家族が『年だからいいです』と断られてしまい、対応できない。

- 多くは、不可能とってしまいがちだが、本人の思いを実現させることができた事例であった。本人も「こうしたい」という意思をしっかりとって生活していることが大切だと思った。
- 支援者が皆協力的だった。
- 今回のような関わりができることはモチベーションのアップにつながる（訪問看護師）。
- 県外の方が宿を利用したいという場合の支援体制について、介護保険外での支援として、近くのヘルパー等の事業所が介助に当たれる体制作りができるようにしてほしいと思う。宿として、介護の設備はあるが介助はできない。対応できるような体制ができれば良いと思う。
- 妻の強い思い。すぐに行動をされたことは大きい。
- ケアマネジャー、スタッフの行動力。ケアマネジャーはどうやって皆さんをまとめたのか。
- リスクを周知し、専門職が連携。思い、目的が一致できたのは、日頃からスタッフが顔の見える関係性ができていたからこそ。

- 看取りに関わりが少ない職種もいて、今回の報告は大変勉強になった。
- 終末期のペインコントロールの難しさ
- 体調の急変への対応、覚悟
- 元気なうちに希望を聞くことが大事。
- 日々の思いを聞くこと、思いを受け止めることは大事であると思った。
- 疾患によって出来ること、できないことがあると思うが、小さな願い（例えば、「外出したい」「庭を見てみたい」等）でもかなえてあげたいと思う。願いに気づいてあげられるようにしたい。一つひとつの願いをかなえていきたい。
- すごいことができるんだと思った。
- ご家族の覚悟
- 家族の方の決断が大きかった
- 家族の関わりのすばらしさ

- チームのすばらしさ 楽しく関わっておられたことが本人や家族の思いに寄り添えたのでは。
- 良い資源があることを知り利用したいと思った。
- 事例をあげることで、社会資源や支援の可能性を知ることができる。
- 市民の方にも社会資源や在宅看取りを知ってもらうようにする必要があると思った。
- さまざまな望みをかなえる支援。一般の人はまず不安が大きいと思うが、ニーズに対する様々な支援の方法、実現の方法を提案ができるのが専門職ではないだろうか。

質問) 外出先での薬剤の服用方法が変わる場合、薬剤師としてこういった対応ができるか、必要なのか知りたい。

質問) 旅行が可能かどうか、医師の判断 (→医師: 「今しかない」と思った)